

たじみん昼話 45

ゼロを割る!セロで割る?考える空間で考えよう!

勉強とは本来何を意味するのでしょうか。ききょうは、自らの意志で、頭を使い考える力を身につけることだと考えています。計算練習をすることでも、簡単に解ける問題を機械的に繰り返すことでもありません。そんなことをいくら繰り返しても考える力はまったく身につきません。もちろんわからない時に、教師にすぐに教えてもらうことでもないと思います。

ではどうすれば身につくのか。その1つの方法が、難問を20~30分集中して考え続けることだと思います。

生徒が本当に考えているかは、目を見ていればわかるものです。真剣に考えている時は、目に力があって輝いています。これがどう考えても先に進めない、考える手立てがない時に、目の力は失われます。そのときに先生の出番だとききょうは考えています。このタイミングで考える大切さを伝えて励ます。苦しくても、「がんばるぞ」と、やる気を起こさせる。ときには、「こんなふうに考えてみたらどうなるかな?」とか「問題文のこの部分は、どういう意味だろう?」と先に考えを進めるためのヒントを与えること、それが考える力を身に着けさせる教師本来の役目だと考えます。

皆さんにやってほしいことは、問題文を一文ずつたどりながら「これはどういう意味?」「この数字は、何のこと?」と、問いかけながら考えを継続することです。これが頭を働かす原動力になります。そして、これを継続することで、考える力は必ず身につきます。これがアクティブラーニングの本質です。現在、多治見高校はそれを実行する空間の提供とシステムを実行中です。

考え続けることは大変です。でもクラスの仲間が必死に考えている空気感の中にいると、次第にがんばれるようになります。是非チャレンジを。

考えよう この計算の仕方と答えを考えて、隣の方に説明してください。

$0 \div 3$

$6 \div 0$

$0 \div 0$